

令和5年度 コンプライアンス推進委員会（臨時） 議事録

開催日時	令和5年8月31日（木）午前11時00分～午後12時00分	
開催場所	八景キャンパス第一会議室 及び zoom 開催	
出席者	委員	小山内 理事長（委員長）、遠藤 副学長、中島 医学群長、橘 国際総合科学群長、吉泉 事務局長、後藤 附属病院長、榊原 市民総合医療センター病院長、高橋 副局長（総務部長）、小林 学務・教務部長、甘粕 総務部経営戦略担当部長、瀧澤 総務部担当部長、渡邊 研究推進部長、羽田 医学・病院統括部長、倉本 市民総合医療センター管理部長、池田 弁護士（明大昭平・法律事務所）
	オブザーバー	湊 コンプライアンス推進担当部長（横浜市総務局コンプライアンス推進室）、三島 市民情報室長（横浜市市民局市民情報室）
	事務局	栗竹 コンプライアンス推進担当課長、鈴木 コンプライアンス推進担当係長、相澤 コンプライアンス推進担当職員
欠席者	委員	相原 学長、中條 副学長
	オブザーバー	玉越 監事

（1）開会

（2）臨時監査結果報告

資料に基づき高橋副局長より説明があった。

（3）是正又は改善を要する事項と今後の取組

資料に基づき高橋副局長より説明があり、以下を大学法人全体の取組みとして進めていくことが決定された。

- （1）再発防止策等*の通知文を全職場に発出

*再発防止策等：発生事案の概要、監査報告の要点、再発防止策（以下、同じ）

- （2）再発防止策を組織的に徹底するための管理職研修を実施
- （3）再発防止策等を大学ホームページにて公表

（4）閉会

<全体を通した主な意見>

意見等①：市大担当者は建築業務に精通していなかったとはいえ、手続を誤ってしまったことは事実なので反省すべきだと思う。

意見等②：(申請名義が市大理事長だったことについては、) 実質的に重大な違法行為や不正行為があったわけではないが、手続き的な面では不備があったと思う。今後も留意して大学の事務を進めて欲しい。

意見等③：建築主を市大理事長とした意思決定のプロセスの内、どこに問題があったのかを理解することが再発防止の根幹となり、風通しの良い職場づくりにつながるのではないか。

意見等④：この取組みを組織内で共有し、再発防止につなげることが重要である。例えば、「押印不要の文書を決裁せずに出すこと」などは、近年の情勢では起こり得ることなので、素早く学内に浸透させた方が良い。そのためにも、通知を第一報として発出するのは必須だと思う。また、管理職は研修を通して理解を深め、「私たちの職場ではこうしたことが起こるかもしれない」という意識を、職場に浸透させることが重要だと考える。ホームページで公表することは、世間にきちんと説明し公表する上で重要である。この3つの取組みをしっかりと行うことは大学の未来を作っていくために必要である。組織全体として取組んでもらいたい。

以上